

へる、この意味から云つて資本家對労働者の勞資戦として會社の罪に化さるゝことは止むを得ない、この南海争議は局部的のものではあつたが、これも日本交通労働史の一頁を編むものでその影響は資本家對労働者の運命の決する一般的情意が解決出來得る多大の興味を有してゐる。今回南海争議は會社側の勝利となつてゐるが決して内實的の勝利とは云へない、唯同社岡田事務が自己の地位を利用して權力を振り廻し官僚的手腕に成功した丈いで岡田君が行つた解決方法は勞資戦の解決としては時代的の合法とは云へない、かゝる彈壓的政策は或る時代に相應しかつたも知れぬがわが日本も世界的時流と共にすべてが進歩し、早や明治も去り大正も過ぎ今は昭和の新時代であるから勞資間においても最も合法的妥協解決をなさばならぬ、今回南海當局の執つた行爲を見るに一般公衆に影響した迷惑は民衆として黙過すべからざる一時であり又、會社側が争議團を暴壓の權力で従屬させられたことは最も同社の爲め惜むべきで、その反應的現象は何にかの場合に勃發するであらう。これ等をもつて吾等公衆は社會の常事として破棄することは出來ない、南海當局はこの際宜敷く社會に陳謝するは勿論一般交通労働關係者は一舉して精神的融合解決を計らなければならぬ、これ社會問題の緊急一事である。

(九月號實業之大阪)

數日來險惡であつた、南海電車乗務員は突如同盟罷業を決定し運轉系統を無茶苦茶にし沿道多數の乗客は頗る閉口した。元來資本家と労働者との關係圓滑にして兩者の間に何等利害の衝突を來さず、又何等感情の背馳を招

かず、機械が時日刻々運轉する如く労働者が々致して生産に従はんか經濟上の慶福之に過ぐるものなし雖も現時の經濟組織に於ては資本家對労働者の關係は未だ斯る理想的境域に達するに至らず、労働者が組合即ち自治的團結をなして其團結力が鞏固になれば、團體の勢力に依頼して資本家に當り其れが労働條件の改善を謀り彼等の認めて適當とする労働條件の締結を資本家に求め資本家の之を拒否するや自己の主張を貫徹するの手段として同盟罷業を敢行するに至る。今回起りたる南海電車乗務員のストライキは普通労働者にあらずして公共事業の交通に從事する労働者なるが故に社會の同情尠しき非難する者もあるが我輩は交通労働者なるが故に特に社會の同情なしき斷ずる能ず、會社其れ自らも公共事業に從事する以上共に責任を負はざる可らず、而も今回のストライキの原因たるや労働團體が時代の進歩にも進歩し政黨團體たらんとするの傾向を示し來りたるを會社側は之に無産黨の乘するを恐れ、其れが政治團體たるを禁止すると共に個人として政治に干與する事を嚴禁したり、茲に於て四ヶ條の要求條件を提出し會社側に於て誠意なしき見て直にストライキに入一同高野山に立籠り結束を堅めて争議擴大したり。一般世人は同盟罷業に就ての感想は之を憎惡するの事に存じ、之を憎惡するの念は進んで官憲の勢力を以つて罷業を防壓し、労働運動の自由を拘束し、労働者の團結を壓迫するの政策を助長するに至らん、此種の思想政策は數十年前人の自由を尊重するを以つて一の誇りとしたる英國に於て行はれたるが如く今日の日本に於て行はるゝの趣きあり、蓋し世人が同盟罷業を憎惡するの信念を懐く所以を考ふるに或は労働者